第2章

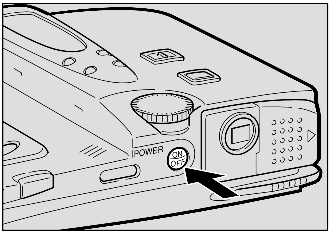
基本操作をマスターする

電源をオン / オフする

カメラの電源のオン / オフを切り替えます。

■オンにする

❶ 電源スイッチを押します。



補足 ・液晶モニターを開いたとき、電源が入るよう設定できます。→P.122「液晶モニターオープン時の電源オン/オフを切り替える」

■オフにする

❶ 電源スイッチを押します。

コラム

オートパワーオフについて

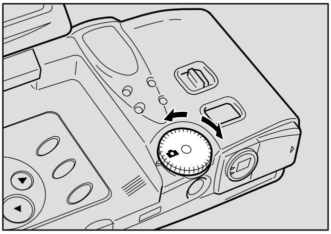
電源がオンのとき、設定された時間内にカメラ内の操作（ボタンやキーの操作）をしないと、節電のため「オートパワーオフ」が働き、液晶モニターや電源がオフになります。再びお使いになるときは、電源を再投入してください。なお、AC アダプター使用時はオートパワーオフは機能しません。→P.117「オートパワーオフの設定を変更する」

モードダイヤルの使い方

このカメラには、撮影や再生を行ういくつかのモードがあります。モードダイヤルを使って切り替えます。

モードダイヤル	モード名	内　容
SETUP	**SETUPモード**	カメラの設定を変更したり、確認するモードです。
	動画モード	動画を記録するモードです。音声も同時に記録されます。
	連写モード	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
	文字モード	文字を撮影するモードです。階調をなくし、白と黒の２値で記録します。
	音声モード	音声を録音するときに使用します。
	静止画モード	一般的な撮影で使用します。
	再生モード	記録したファイルを再生するモードです。
	PCモード	カメラとパソコンを接続して、パソコンにファイルを送ったり、パソコンからカメラを操作するモードです。
	通信モード	撮影した画像の送信やインターネット機能を利用するときに使います。

❶ モードダイヤルを回して、使用するモードに切り替えます。



モードによって、液晶モニターに表示される画面が異なります。操作については、参照先をご覧ください。

・SETUP（SETUP）→ P.116
・（動画）→ P.60
・（連写）→ P.59
・（文字）→ P.58
・（音声）→ P.59
・（静止画）→ P.49
・（再生）→ P.84

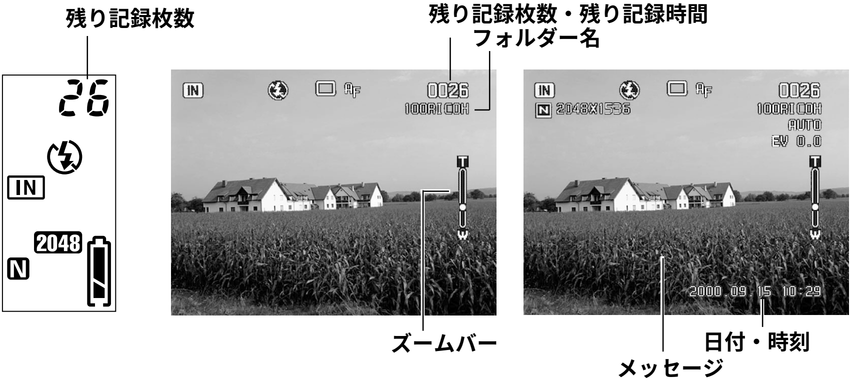
補足　・（PCモード）や（通信モード）については、「パソコンとの連携編」、「通信/インターネット編」をご覧ください。

情報表示の見かた

液晶モニターや液晶パネルには、電源の状態や記録可能枚数、設定されているモードなど、カメラの状態をマークや数字で表示します。

撮影モードのとき

液晶パネル　　**液晶モニター**



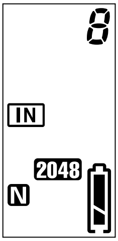
	液晶パネル	液晶モニター
メディア	CF PC CARD IN	CF CARD　PC CARD　IN
フラッシュモード		A
赤目モード		
ホワイトバランス	−	
ファイル種類		
サイズ/画素数	2048　1024　640	2048×1536・1024×768・640×480
画質/圧縮率	F　N　E　NC	F・N・E・NC
露出補正値	−	EV-2.0〜EV+2.0
デジタルズーム	−	×1.3・×1.6・×3.2
ISO感度設定	−	AUTO・ISO200・ISO400
オートブラケット撮影	−	AB
フォーカス表示	−	AF・MF
マクロ撮影	−	
セルフタイマー撮影		
電池マーク		−
ソフトモード	−	SOFT
長時間露光	−	L1・L2・L4・L8

補足　・表示されるメッセージについては、「エラーメッセージが表示されたときは（P.133）」をご覧ください。

再生モードのとき

液晶パネル　　**液晶モニター**

フォルダー名/ファイル名
再生ファイル番号/総ファイル数







コマ戻し　コマ送り

日付・時刻
編集モード切り替え

	液晶パネル	液晶モニター
メディア	CF PC CARD IN	CF CARD　PC CARD　IN
ファイル種類		
サイズ/画素数	2048　1024　640	2048×1536・1024×768・640×480
画質/圧縮率	F　N　E　NC	F・N・E・NC
電池マーク		－
プロテクトマーク	－	
アフレコ		
テキストメモ	－	A

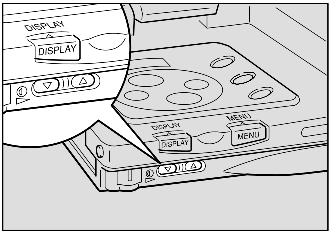
液晶モニターを調整する

液晶モニターのコントラスト調整やポイント調整など、液晶モニターの使い方について説明しています。

液晶モニターのコントラストを調整する

太陽光の下などで液晶モニターが見えにくいときは、液晶モニターのコントラストを調整してお使いください。

❶ LCDコントラスト調整キー（▽/△）を押して、液晶モニターのコントラストを調整します。



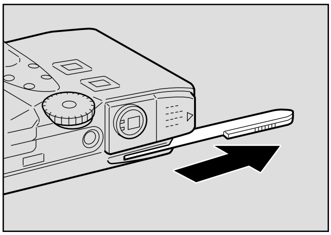
タッチペンをお使いになる場合

■タッチペンについて

タッチペンは次の方法で取り出し、ご使用後は必ず元に戻してください。

❶ タッチペンを矢印の方向に引き出しながら取り出します。

取り付けるときは、タッチペンの先端からスライドさせながら取り付けます。

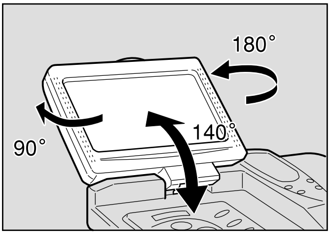


■液晶モニターについて

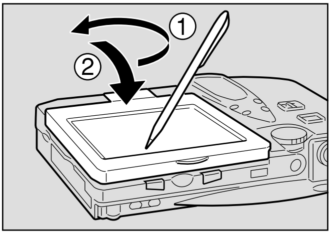
タッチペンをお使いになるときは、液晶モニターを次のようにセットしてご利用いただけます。

❶ **液晶モニターは、図のように回転できます。**

無理に回転させないでください。



❷ **液晶モニターを垂直に開き、矢印の方向に180度回転させてから図のように倒します。**



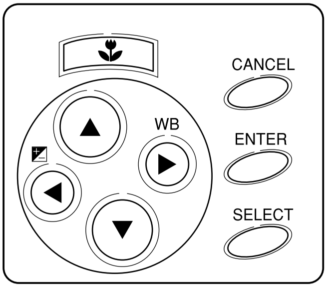
液晶モニターとタッチパネルのポイント調整をする

このカメラは、タッチペンを使って項目の選択や設定が行えます。タッチパネルの働きがおかしいときは、液晶モニターとタッチパネルのポイント調整を行ってください。

❶ **モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。**

参照 ・P.24「電源をオン / オフする」
・P.25「モードダイヤルの使い方」

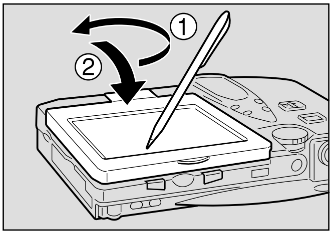
❷ ▼キーを押して［タッチパネルキャリブレーション］にフォーカス（緑枠）を当て、ENTER キーを押します。



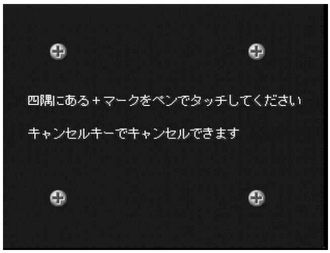


参照 ・P.32「項目の選択や取り消し方法」

❸ 液晶モニターを垂直に開き、矢印の方向に 180 度回転させてから図のように倒します。



❹ 四隅にあるマークをペンでタッチします。



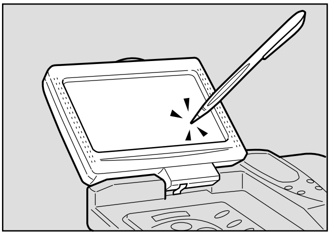
項目の選択のしかた

このカメラでは、操作パネルのキーやタッチペンを使って、項目を選択したり、設定した内容の確定や取り消しなどが行えます。ここでは、キーとタッチペンの使い方について説明します。

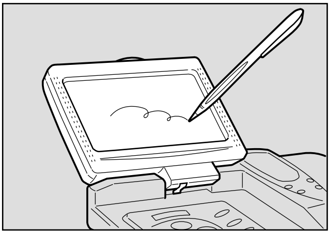
タッチペンの操作方法

タッチペンの基本的な操作には、次の２つの方法があります。

●タッチする
ペンで画面上を軽く押す動作です。画面上の項目を選択したり、［OK］や［CANCEL］などを選択したりします。
本書では、「ペンでタッチします。」「ペンで選びます。」のように記載しています。



●ドラッグする
ペンで画面上を軽く押したまま、ペンを動かす動作です。手書きで文字や線を描いたり、画面上の範囲を指定するときに操作します。
本書では、「ペンをドラッグします。」のように記載しています。



補足 ・このカメラでは、タッチペンと同じように指を使って操作できます。画面上を指の腹で軽く触れるように操作してください。

項目の選択や取り消し方法

操作パネルのキーとタッチペンの操作方法を説明します。

■表示方法の切り替え方



	次の画面（1）	前の画面（2）	MENU画面を終わる
ペンを使う	画面左下の▼をタッチします。	画面左下の▲をタッチします。	［終了］をタッチします。
キーを使う	▼キーを押すとフォーカス（項目名の緑枠）が下に移動します。フォーカスが1番下の項目にあるときに▼キーを押します。	▲キーを押すとフォーカスが上に移動します。フォーカスが1番上の項目にあるときに▲キーを押します。	CANCELキーを押します。

補足 ・画面下の［終了］や［OK］の上に「CANCEL」や「ENTER」の文字を表示していますが、これはキー操作をするときに該当するキー名を表します。

■項目の選択と取り消し



	項目を選ぶ（1）	設定内容を選ぶ（2）	キャンセル（3）
ペンを使う	目的の項目をタッチします。	目的の設定をタッチし、［OK］をタッチします。	［キャンセル］をタッチします。
キーを使う	▼▲キーでフォーカスを移動し、ENTERキーを押します。	▼▲キーでフォーカスを移動し、SELECTキーを押します。続けてENTERキーを押します。	CANCELキーを押します。

補足 ・半輝度表示の項目は選択できません。

■編集モードのときは



	編集モード（1）	項目を選ぶ（2）	設定内容を選ぶ（3）	キャンセル（4）
ペンを使う	画面右下の編集モードをタッチします。	目的の項目をタッチします。	目的の設定をタッチします。	をタッチします。
キーを使う	ENTER キーを押します。	▶キーで1番上の項目にフォーカス（項目名の緑枠）を移動します。 ▼▲キーで目的の項目にフォーカスを移動し、SELECTキーを押します。	▼▲キーで目的の設定にフォーカスを移動し、SELECTキーを押します。	▼キーで にフォーカスを移動し、SELECTキーを押します。

■（チェックボックス）の使い方

●ペンを使う

目的の をタッチして にします。再度タッチすると選択を取り消します。

●キーを使う

▲・▼キーで目的の項目にフォーカスを当て、SELECT キーを押します。再度キーを押すと選択を取り消します。



■（ラジオボタン）の使い方

●ペンを使う

目的の をタッチし、 にします。

●キーを使う

▲・▼・◀・▶キーで目的の項目にフォーカスを当て、SELECT キーを押します。



■（スピンボックス）の使い方

●ペンを使う

ペンでまたはをタッチし､数値を指定します。

をタッチすると数値が進み､をタッチすると数値が戻ります。



●キーを使う

Ⓐ･Ⓥ･◁･▷キーで目的の項目にフォーカスを当て､Ⓐキーまたは Ⓥキーで数値を指定します。

Ⓐキーを押すと数値が進み､Ⓥキーを押すと数値が戻ります。

■（ドロップダウンリスト）の使い方

●ペンを使う

ペンでをタッチし、リストから目的の項目をタッチします。



●キーを使う

Ⓐ･Ⓥ･◁･▷キーで目的の項目にフォーカスを当て､▷キーでリストを表示して SELECT キーを押します。

Ⓐ･Ⓥキーでリストから目的の項目にフォーカスを当て、SELECT キーを押します。

文字入力や描画のしかた

ソフトキーボードを使った文字の入力方法や、ツールパレットを使った描画のしかたを説明します。

ソフトキーボードを使う

が表示されている項目は、ソフトキーボードを使って文字を入力することができます。次のように操作します。

❶ を選んでソフトキーボードを表示します。

入力欄をタッチしても、ソフトキーボードを表示できます。

●キーを使う

▲・▼キーで入力したい項目にフォーカスを移動します。▶キーで入力欄にフォーカスを移動しSELECTキーを押します。



❷ をタッチし、リストから入力モードを選びます。

入力モードには、「ひら漢」、「カナ」、「英語」、「R漢」、「記号」、「区点」があります。



❸ 文字を入力します。

入力モードによって入力方法が異なります。

- **漢字を入力する→ p.36**
- **カナを入力する→ p.37**
- **英数字を入力する→ P.37**
- **記号を入力する→ p.37**
- **区点コードで入力する→ p.38**

❹ 文字の入力後、［入力］を選びます。

ソフトキーボードが消え、元の画面に戻ります。

■漢字を入力する

ひらがな入力した文字を漢字に変換する「ひら漢」入力モードと、ローマ字入力した文字を漢字に変換する「R漢」入力モードがあります。

漢字を入力するときは、文字キーをタッチして［変換］を選びます。［変換］をタッチするごとに漢字候補が切り替わります。［確定］をタッチすると入力文字が確定します。
正しく変換されなかったときは、不要な文字をタッチしてカーソルを移動させます。［後退］をタッチして不要な文字を削除し、再度変換し直してください。

●入力モード：ひら漢



[中止]　：入力を中止し、元の画面に戻ります。
[取消]　：入力途中の文字を取り消します。
[ｽﾍﾟｰｽ]　：スペース（空白）を入力します。
[変換]　：入力した文字を漢字に変換します。
[前候]　：前の変換候補を表示します。
[確定]　：入力文字を確定します。
[入力]　：入力を終了し、元の画面に戻ります。
[後退]　：カーソル前の文字を削除します。
[゜]（半濁音）[゛]（濁音）：
文字をタッチしたあとにタッチすると、半濁音、濁音を入力できます。
[小]（拗音）：
タッチすると文字が切り替わります。再度タッチすると通常入力に戻ります。

●入力モード：R漢



[中止]　：入力を中止し、元の画面に戻ります。
[取消]　：入力途中の文字を取り消します。
[ｽﾍﾟｰｽ]　：スペース（空白）を入力します。
[変換]　：入力した文字を漢字に変換します。
[前候]　：前の変換候補を表示します。
[確定]　：入力文字を確定します。
[入力]　：入力を終了し、元の画面に戻ります。
[後退]　：カーソル前の文字を削除します。
[⇧]　：文字キーを切り替えます。
[Caps]　：文字キーを大文字に切り替えます。
再度タッチすると、元に戻ります。

■カナを入力する



●入力モード：カナ

中止　：入力を中止し、元の画面に戻ります。
ｽﾍﾟｰｽ　：スペース（空白）を入力します。
入力　：入力を終了し、元の画面に戻ります。
後退　：カーソル前の文字を削除します。
゜(半濁音)゛(濁音)：
文字をタッチしたあとにタッチすると、半濁音、濁音を入力できます。
小(拗音)：
タッチすると文字が切り替わります。再度タッチすると通常入力に戻ります。

■英数字を入力する



●入力モード：英語

中止　：入力を中止し、元の画面に戻ります。
ｽﾍﾟｰｽ　：スペース（空白）を入力します。
入力　：入力を終了し、元の画面に戻ります。
後退　：カーソル前の文字を削除します。
⇧　：文字キーを切り替えます。
Caps　：文字キーを大文字に切り替えます。
再度タッチすると、元に戻ります。

■記号を入力する

「記号1」、「記号2」、「記号3」から入力できます。記号キーをタッチして入力します。



●入力モード：記号 1

中止　：入力を中止し、元の画面に戻ります。
ｽﾍﾟｰｽ　：スペース（空白）を入力します。
入力　：入力を終了し、元の画面に戻ります。
後退　：カーソル前の文字を削除します。

●入力モード：記号 2



中止 ：入力を中止し、元の画面に戻ります。
ｽﾍﾟｰｽ ：スペース（空白）を入力します。
入力 ：入力を終了し、元の画面に戻ります。
後退 ：カーソル前の文字を削除します。

●入力モード：記号 3



中止 ：入力を中止し、元の画面に戻ります。
ｽﾍﾟｰｽ ：スペース（空白）を入力します。
入力 ：入力を終了し、元の画面に戻ります。
後退 ：カーソル前の文字を削除します。

■区点コードで入力する

「区点」に切り替えて入力します。数字キーをタッチすると入力できます。

●入力モード：区点



中止 ：入力を中止し、元の画面に戻ります。
ｽﾍﾟｰｽ ：スペース（空白）を入力します。
入力 ：入力を終了し、元の画面に戻ります。
後退 ：カーソル前の文字を削除します。
CE ：入力を取り消します。

参照 ・P.136「区点コード表」

ツールパレットを使う

ツールパレットは、フリーハンドで文字を書いたり、線や円などの図形を描くための機能です。５種類のツールがあります。

 ペン ：フリーハンドで文字や図形を描きます。
 消去 ：描いた文字や図形を消去します。
 全消去 ：描いたすべての文字や図形を消去します。
 線幅選択 ：ペンの太さを変更します。
 カラー選択：ペンの色を変更します。

■文字や図形を描く

❶ をタッチし、ペンをドラッグさせながら文字や図形を描きます。



●ペンの太さを変える

をタッチし、リストから線幅を選びます。線幅は３種類（細い、中間、太い）から選択できます。



●ペンの色を変える

をタッチすると、カラー選択の画面が表示されます。
使用する色を選び、［OK］を選びます。



❷ 文字や図形の描画後、［保存］を選びます。

■文字や図形を消去する

❶ をタッチし、消去したい個所をペンでドラッグします。

●すべての文字や図形を消去する

をタッチすると、すべての文字や図形を消去できます。



カメラ情報を設定する

日付や時刻、オーナー情報など、カメラ情報の設定方法について説明します。

日付や時刻を設定する

カメラの日付や時刻を設定します。最初にお使いになるときや、設定してある日付や時刻を変更するときにお使いください。

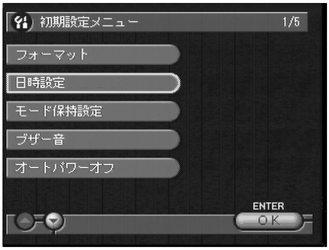
補足
・年は西暦で入力します。
・時刻は 24 時間表示です。00:00 は真夜中を、12:00 は正午を表します。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

❷［日時設定］を選びます。

日付設定メニューが表示されます。次の３つの項目を設定します。

・日付や時刻を設定する→ P.40
・使用する日時を選択する→ P.41
・日時の表示形式を選択する→ P.42



■日付や時刻を設定する

日付や時刻を設定します。第１日時、第２日時の２パターンを設定できます。海外旅行の際に、切り替えることができます。

❶［第 1 日時］または［第 2 日時］を選びます。



❷［日付］や［時刻］を設定した後、［OK］を選びます。

「使用する日時を選択する（P.41）」で、第１日時または第２日時のどちらを使用するかを指定してください。



参照 ・P.34「(スピンボックス）の使い方」

❸［終了］を選びます。

初期設定メニューに戻ります。

補足 ・バッテリーの交換などでバッテリーを取り出してから約1カ月経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。

■使用する日時を選択する

第１日時、第２日時のどちらの日時を使用するかを選択します。

❶［使用する日時］を選びます。



❷［第１日時］または［第２日時］を選んだ後、［OK］を選びます。

❸［終了］を選びます。

初期設定メニューに戻ります。



■日時の表示形式を選択する

日付の表示形式を選びます。次の３種類から選択できます。

「2000年9月15日 午前10時」の場合、表示形式は次のようになります。

YYYY/MM/DD hh:mm →2000/09/15 10:00
MM DD YYYY hh:mm →SEP 15 2000 10:00
DD MM YYYY hh:mm →15 SEP 2000 10:00

❶［日時の書式］を選びます。



❷書式を選んだ後、［OK］を選びます。

❸［終了］を選びます。

初期設定メニューに戻ります。



コラム

日付・時刻を確認するには

セットした日付や時刻は、撮影モードや再生モードでDISPLAYキーを押すと液晶モニターに表示されます。→P.49、P.87「画面表示について」

オーナー情報を登録する

氏名、住所、電話番号、撮影者名などの個人情報を登録できます。登録した情報は、画像スタンプ撮影や画像のFAX送信、パソコンで再生するときなどに使用されます。

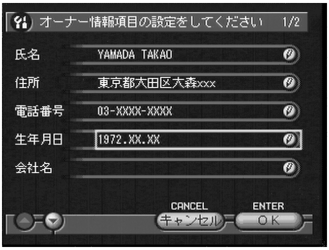
❶ **モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。**

❷ **［オーナー情報］を選びます。**



❸ **各項目のを選び、ソフトキーボードを使って必要な情報を入力します。**

参照 ・P.35「ソフトキーボードを使う」



❹ **［OK］を選びます。**

初期設定メニューに戻ります。

補足
・ここで登録した撮影者名は、画像ファイル名に埋め込まれ、パソコンで再生する場合に画像の詳細情報として表示されます。→パソコンとの連携編「詳細情報を表示する」
・カメラとパソコンを接続して使用するときは、パソコン側でオーナー情報を登録することができます。→パソコンとの連携編「オーナー情報を設定する」

撮影の前に

実際に撮影する前に、メディアをフォーマットしたり、ファインダーの視度調整やカメラの構えかたを確認してください。

メディアをフォーマットする

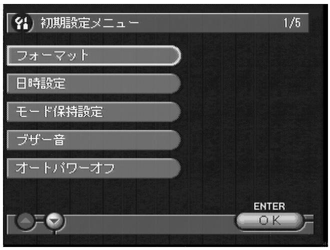
CF カード、PC カード、内蔵メモリーをフォーマットします。
新しいカードをお使いになるときや、他の機器（パソコンなど）で使用していたカードをお使いになるときは、必ず、このカメラでフォーマットしてください。

重要

・メディアをフォーマットすると、記憶されているすべてのファイルが削除されます（プロテクトファイルも含む）。必要なファイルは、他のメディアにコピーや移動してからフォーマットしてください。→ P.92「ファイルをコピー / 移動する」
・他の機器でフォーマットしたCFカードやPCカードは、使用できないことがあります。

❶ モードダイヤルを［SETUP］に合わせます。

❷［フォーマット］を選びます。



❸ フォーマット先（CF CARD・PC CARD・IN）を選びます。

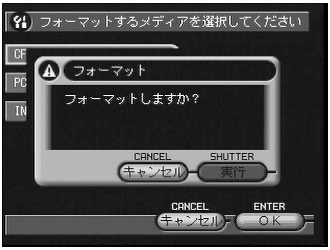
「CF CARD」はCF カード、「PC CARD」はPC カード、「IN」は内蔵メモリーを表します。

確認の画面が表示されます。



❹ **シャッターボタンを押します。**

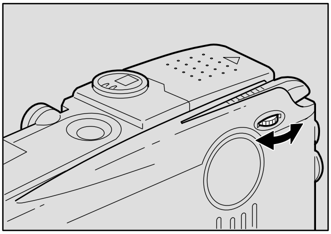
「フォーマット中」とメッセージが表示され、フォーマットが終了すると初期設定メニューに戻ります。



ファインダーの視度を調整する

ファインダーから被写体がはっきり見えるように、視度を調整してお使いください。

❶ **視度調整ダイヤルを左右に動かして、被写体がはっきり見えるよう調整します。**



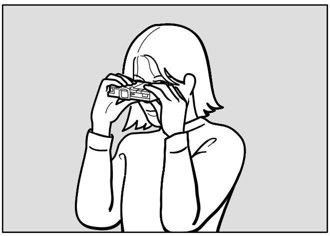
カメラの構えかた

撮影のときにカメラが動いてしまうことを「カメラブレ」といいます。カメラブレの映像は、画像全体がブレてしまいシャープに写ったところがありません。カメラが動かないように正しく構えてください。特に望遠時には、カメラブレにご注意ください。

❶ **カメラを両手でしっかり持ち、ひじは軽く体につけます。**

●ファインダーをのぞいて撮影する

カメラを軽く顔に押しつけるように固定し、撮影したいものにカメラを向けてファインダーをのぞきます。



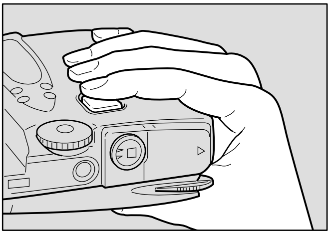
●液晶モニターを見ながら撮影する

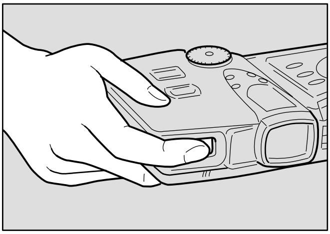
カメラを両手でしっかり持ち、撮影したいものにカメラを向けて液晶モニターを見ます。



❷ シャッターボタンに指の腹が軽く触れるようにします。

シャッターボタンは、カメラ上面と前面の2個所にあります。使いやすいシャッターボタンをご利用ください。





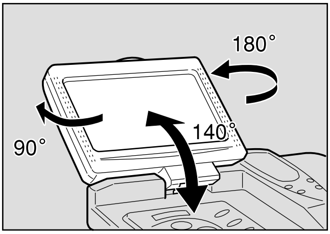
重要

・シャッターボタンから指を離しておいて、撮影のときに一気にシャッターボタンを押し込むとカメラブレの原因になります。
・カメラのブザー音が鳴るまでは、カメラを動かさないでください。

液晶モニターは、図のように回転できます。自由なアングルで撮影してください。

重要

・水平方向へは、液晶モニターを90度に開いてから回転させてください。



■使用上のご注意

カメラのレンズやフラッシュ発光部などに指や髪、ストラップなどがかからないように注意してください。

